平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名　日本ピグメント株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4119　URL　http://www.pigment.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 浅羽　幸夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長　(氏名) 今井　信一　TEL 03-3258-1412

四半期報告書提出予定日　平成24年11月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	19,690	13.7	318	49.4	355	53.5	△9	―
24年3月期第2四半期	17,312	△8.2	213	△70.1	231	△67.5	133	△68.9

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　△89百万円　(―%)　24年3月期第2四半期　156百万円　(△44.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△0.61	―
24年3月期第2四半期	8.50	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	23,788	9,550	37.5
24年3月期	23,658	9,565	38.2

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　8,914百万円　24年3月期　9,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	―	―	6.00	6.00
25年3月期	―	―			
25年3月期(予想)			―	8.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	8.8	800	13.2	800	18.9	200	△52.8	12.72

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	15,758,994 株	24年3月期	15,758,994 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	44,601 株	24年3月期	43,965 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	15,714,666 株	24年3月期2Q	15,715,658 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報 ……2

(1)連結経営成績に関する定性的情報 ……2
(2)連結財政状態に関する定性的情報 ……3
(3)連結業績予想に関する定性的情報 ……3

2．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……3
(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……3
(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……3

3．四半期連結財務諸表 ……4

(1)四半期連結貸借対照表 ……4
(2)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
(3)継続企業の前提に関する注記 ……8
(4)セグメント情報等 ……8
(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8
(6)追加情報 ……9

1．当四半期決算に関する定性的情報

(1)連結経営成績に関する定性的情報

①当期の経営成績

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、第1四半期においては、復興需要やエコカー補助金等の政府経済対策を背景に、国内需要も回復傾向が見られましたが、第2四半期に入り、海外経済の減速を受け、回復の動きに足踏みが見られます。我が国経済の先行きとしても、海外景気の動向に加え、長期化する円高や中国での反日運動による影響等、非常に不透明な状況となっております。

当業界におきましても、第2四半期に入り、海外経済の減速による需要の減少が徐々に顕在化しております。

このようななか当社グループは、主要ユーザーである自動車産業向けへの拡販や、需要家の海外への生産移管の動きへの対応に努めて参りましたが、家電産業向けの落ち込みに加え、第2四半期以降、世界経済の減速を受けて国内外で製品構成の悪化が見られる等、事業環境は厳しさを増してきております。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、19,690 百万円（前年同四半期比13.7%増）、経常利益は355百万円（前年同四半期比53.5%増）となりました。四半期純損益は、子会社の解散に伴い発生が見込まれる損失を特別損失に計上したこともあり、四半期純損失9百万円（前年同四半期純利益 133 百万円）となりました。

②企業集団のセグメント別の状況

当社グループのセグメント業績は次のとおりであります。

日本

日本は、第1四半期においては緩やかな回復傾向にありましたが、第2四半期に入り、海外経済の減速の影響が出てきていることに加え、期後半ではエコカー補助金の終了等もあり、需要の回復傾向に翳りがみられます。

部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、第2四半期に入り海外経済の減速の影響を受け、受注が減少傾向にあり、その内自動車産業向けでは、期後半にかけて、エコカー補助金終了により受注に翳りが見られます。次に、樹脂用着色剤部門は、自動車産業向け需要が、第2四半期後半にかけてはエコカー補助金終了の影響も見られたものの、全体としては堅調に推移しました。家電産業向けは、第2四半期に入り市場が再び在庫過剰となったため、販売面で影響が出ましたが、樹脂用着色剤部門全体としては、概ね計画通りに推移しました。最後に、加工カラー部門は厳しい事業環境に変わりなく、建材産業向けは引き続き回復傾向にあるものの、自動車産業向け等需要は想定していたより伸び悩みました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、12,045 百万円（前年同四半期比 5.8%増）、営業利益は 106 百万円（前年同四半期営業損失 7 百万円）となりました。

東南アジア

東南アジアは、海外経済の減速の影響を受けたものの、全体としては、タイ洪水からの復旧が進んだほかインドネシアや南米等の堅調な需要に支えられて、OA産業向けや自動車産業向けを中心に回復していることから、当第2四半期連結累計期間の売上高は 7,365 百万円（前年同四半期比 27.9%増）となりました。損益面においては、汎用製品の比率が比較的高かったこともあり、営業利益は 220 百万円（前年同四半期比 8.2%減）となりました。

その他

その他は、当第2四半期連結累計期間の売上高が 280 百万円（前年同四半期比 72.4%増）、営業損失は 7 百万円（前年同四半期営業損失 18 百万円）となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間末の総資産は23,788百万円と前期末の23,658百万円に比べ130百万円の増加となりました。

資産のうち流動資産は13,497百万円と前期末の13,468百万円に比べ28百万円の増加となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が152百万円、製品、原材料及び貯蔵品が合計で43百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

固定資産は10,291百万円と前期末の10,189百万円に比べ101百万円の増加となりました。この主な要因は有形固定資産が244百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は14,238百万円と前期末の14,092百万円に比べ145百万円の増加となりました。負債のうち流動負債は11,503百万円と前期末の10,717百万円に比べ786百万円の増加となり、固定負債は2,734百万円と前期末の3,375百万円に比べ640百万円の減少となりました。固定負債減少の主な要因は長期借入金が642百万円減少したことなどによるものです。また、純資産合計は9,550百万円と前期末の9,565百万円に比べ15百万円の減少となりました。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期における通期の業績予想につきましては、平成24年10月24日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

従来の方法に比べて、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．【四半期連結財務諸表】
（１）【四半期連結貸借対照表】

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,107,635	2,772,565
受取手形及び売掛金	6,816,052	6,968,489
製品	1,769,174	1,708,497
原材料及び貯蔵品	1,444,532	1,549,186
その他	331,288	498,795
貸倒引当金	△83	△83
流動資産合計	13,468,599	13,497,451
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,927,856	2,848,062
土地	3,480,061	3,638,285
その他（純額）	1,226,857	1,392,957
有形固定資産合計	7,634,774	7,879,305
無形固定資産	59,925	71,158
投資その他の資産		
投資有価証券	2,131,689	1,998,876
その他	411,491	386,829
貸倒引当金	△48,185	△44,770
投資その他の資産合計	2,494,995	2,340,935
固定資産合計	10,189,695	10,291,399
資産合計	23,658,294	23,788,851
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,198,820	6,166,622
短期借入金	3,293,454	3,571,739
未払法人税等	62,311	138,969
賞与引当金	216,954	251,016
関係会社整理損失引当金	－	270,000
その他	945,821	1,105,479
流動負債合計	10,717,361	11,503,826
固定負債		
長期借入金	2,678,351	2,036,210
繰延税金負債	395,595	360,311
退職給付引当金	177,411	204,231
役員退職慰労引当金	124,052	134,048
固定負債合計	3,375,410	2,734,801
負債合計	14,092,772	14,238,627

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,047,700	1,047,700
利益剰余金	7,525,632	7,421,672
自己株式	△13,824	△13,962
株主資本合計	10,040,667	9,936,570
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	298,995	221,860
為替換算調整勘定	△1,291,917	△1,243,647
その他の包括利益累計額合計	△992,921	△1,021,786
少数株主持分	517,776	635,439
純資産合計	9,565,522	9,550,223
負債純資産合計	23,658,294	23,788,851

（２）【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第２四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	17,312,140	19,690,914
売上原価	15,771,041	18,024,475
売上総利益	1,541,098	1,666,438
販売費及び一般管理費		
人件費	565,969	557,490
賞与引当金繰入額	75,913	80,247
退職給付費用	42,600	40,320
役員退職慰労引当金繰入額	11,994	9,996
その他	631,141	659,391
販売費及び一般管理費合計	1,327,618	1,347,446
営業利益	213,480	318,992
営業外収益		
受取利息	3,893	3,189
受取配当金	27,109	25,523
持分法による投資利益	34,166	16,918
その他	35,903	56,551
営業外収益合計	101,072	102,183
営業外費用		
支払利息	59,606	55,696
その他	23,271	9,926
営業外費用合計	82,878	65,623
経常利益	231,674	355,553
特別利益		
固定資産売却益	3,868	446
特別利益合計	3,868	446
特別損失		
固定資産除売却損	6,599	3,311
投資有価証券評価損	－	30,880
投資有価証券売却損	51	－
関係会社整理損失	－	281,840
特別損失合計	6,650	316,032
税金等調整前四半期純利益	228,892	39,967
法人税、住民税及び事業税	65,332	133,483
法人税等調整額	16,024	△23,691
法人税等合計	81,356	109,791
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	147,536	△69,823
少数株主利益又は少数株主損失（△）	13,917	△60,154
四半期純利益又は四半期純損失（△）	133,618	△9,669

【四半期連結包括利益計算書】
【第２四半期連結累計期間】

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	147,536	△69,823
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,218	△77,135
為替換算調整勘定	9,016	61,574
持分法適用会社に対する持分相当額	20,402	△4,547
その他の包括利益合計	9,200	△20,108
四半期包括利益	156,736	△89,932
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,423	△38,534
少数株主に係る四半期包括利益	△3,686	△51,397

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

（セグメント情報）

前第2四半期連結累計期間（自　平成23年4月1日　至　平成23年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報　（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注1）	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注2）
	日本	東南ｱｼﾞｱ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,389,370	5,760,345	17,149,715	162,424	17,312,140	―	17,312,140
セグメント間の内部売上高	73,303	64	73,368	―	73,368	△73,368	―
計	11,462,673	5,760,410	17,223,083	162,424	17,385,508	△73,368	17,312,140
セグメント利益又は損失（△）	△7,892	239,977	232,084	△18,604	213,480	―	213,480

（注）1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自　平成24年4月1日　至　平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報　（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注1）	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額（注2）
	日本	東南ｱｼﾞｱ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,045,785	7,365,109	19,410,895	280,019	19,690,914	－	19,690,914
セグメント間の内部売上高	78,373	－	78,373	－	78,373	△ 78,373	－
計	12,124,159	7,365,109	19,489,269	280,019	19,769,288	△ 78,373	19,690,914
セグメント利益又は損失（△）	106,549	220,372	326,922	△ 7,929	318,992	－	318,992

（注）1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。当該変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の「日本」のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 追加情報

(連結子会社の解散および清算について)

当社は、連結子会社であります日本プリントインキ株式会社および三和カラーリング株式会社を解散することを決議いたしました。なお、これに伴い、解散による損失見込額を関係会社整理損失として、特別損失に281,840千円計上しております。

1. 解散に至った経緯

当社は、当該連結子会社2社の事業方針について検討を重ねた結果、日本プリントインキ株式会社については化成品事業の合理化のため、三和カラーリング株式会社についてはABS事業を取り巻く環境が年々厳しさを増してきており、国内需要は今後も減少傾向が見込まれる状況のため、それぞれ解散することといたしました。

なお、日本プリントインキ株式会社にて行っていた製造販売は、当社への移管を実施する予定であります。

2. 解散する当該子会社の概要

①日本プリントインキ株式会社

⑴所在地　埼玉県熊谷市今井字上本郷1035番1

⑵代表者　代表取締役社長　平岡　正彦

⑶事業内容　加工カラー製品、樹脂用着色剤製品の製造販売

⑷資本金　90,000千円

⑸設立　昭和42年2月6日

⑹株主構成　当社100%

②三和カラーリング株式会社

⑴所在地　東京都千代田区鍛冶町一丁目9番14号

⑵代表者　代表取締役社長　浅羽　幸夫

⑶事業内容　樹脂コンパウンド製品の製造

⑷資本金　50,000千円

⑸設立　昭和45年4月8日

⑹株主構成　当社52.0%、ユーエムジー・エービーエス株式会社48.0%

3. 当該子会社の解散日程

①日本プリントインキ株式会社

平成24年12月31日　解散決議(予定)

平成25年12月31日　清算結了期日(予定)

②三和カラーリング株式会社

平成25年4月30日　解散決議(予定)

平成25年9月30日　清算結了期日(予定)